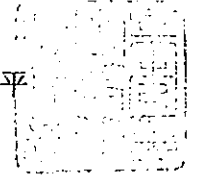


藤 道 第 96 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

藤枝市長 北村 正平



今後の道路行政についての意見について（回答）

別紙のとおり

本年5月13日に「道路特定財源に関する基本方針」が閣議決定され、これまでの道路特定財源を「一般財源化」することが政府の方針として示されました。しかし、地方では、防災対策、通勤・通学路、救急車における患者の早期搬送などの面においても依然として道路整備が必要であり、また、過去に整備した道路に関する交償費・維持管理費の増大や老朽化した橋梁やトンネルの維持・補修などに財源を要する状況です。道路財源の「一般財源化」においては、こうした道路整備や維持管理等に支障が生じないように、必要な財源を確保することが重要と考えます。よって、以下の重点事項の取り組みを要望いたします。

- 1 道路財源の「一般財源化」に当たっては、地方税分及び譲与税分、さらには、交付金、補助金として地方に配分されている財源について、地方枠として維持して下さい。
- 2 各地方団体に配分する場合の枠組みについては、これまで必要とされる道路整備が遅れている地域に、より重点的に配分するように配慮して下さい。

2-① 地域の現状と抱える課題

静岡県藤枝市

○現状

本市の道路交通網は、国道1号が市街地を東西に通過しているほか、国道1号藤枝バイパスが整備され、さらに主要地方道、一般県道を幹線とし、これらに市道などが接続されています。

広域幹線道路や新東名高速道路などの大型プロジェクト関連のアクセス道路などの整備は、広域での移動に要する時間を短縮し、市民生活の利便性の向上や地域産業の振興に不可欠です。

本市の市道は3,022路線、延長約914kmに達し、国道、県道を含めた市内の総道路延長の90%を占め、市民生活に密着した社会基盤として重要な役割を担っています。

多くの市民からは、地元町内会を通して生活道路の整備に対する要望が多く寄せられており、「緊急性、地域性、交通量、事業効果」などから優先順位を付け、整備を進めておりますが、財政的な理由などから対応が遅れ、計画的な整備が出来ない状況です。

○課題

新東名高速道路の工事は順調に推移しており、平成20年代前半の供用開始を目指しているため、アクセス道路の整備が課題となっています。

一方、富士山静岡空港の来春開港に併せたアクセス道路や東名高速道路の新インターチェンジ設置なども重要な課題となっています。

また、国道1号藤枝バイパスが平成17年3月から終日無料化となり、現国道1号の慢性的な渋滞解消が図られた一方で、バイパスの交通量が急激に増加しているため、今後はその対策が必要となります。

幹線道路の整備につきましては、各種補助制度を利用させていただき、整備を進めることは可能であります。しかし、生活道路の整備につきましては、地方道路整備臨時交付金事業の幹線道路との組み合わせである「パッケージ制度」が唯一の選択肢であため、大半の要望箇所は地域性などから「パッケージ制度」に乗ることが困難な状況です。

本市のような地域の現状を把握していただき、生活道路の整備を後押ししていただける「補助制度の拡充」が必要です。

②-2 地域の目指すべき将来像

静岡県藤枝市

- 1 富士山静岡空港の開設に伴う、周辺道路整備
 - ・ 都市計画道路 志太中央幹線の整備（県と共同で事業実施中）
大井川以東の空港利用者の利便性をさらに向上させるアクセス道路。
国道150号の大井川架橋「富士見橋」の渋滞緩和。
 - ・ 現東名高速道路の新インターチェンジ設置（スマートインターチェンジ）
空港利用者の利便性の向上と地域産業のさらなる振興に効果を発揮。
- 2 新東名高速道路の開通に伴う、アクセス道路
 - ・ 都市計画道路 焼津広幡線（県施工にて実施中）
 - ・ 県道静岡朝比奈藤枝線の整備（未施行）
新東名と現東名を結ぶと共に、新東名の利用率向上を図る。
 - ・ 都市計画道路 三輪立花線の整備（藤枝～岡部）
さらに、焼津広幡線にアクセスする道路。
- 3 国道1号藤枝バイパスの4車線化整備
 - ・ 4車線化整備による安全でスムーズな交通流の確保。
- 4 幹線道路整備
 - ・ 都市計画道路 小川島田幹線の整備（焼津～藤枝～島田）
今後、本市が整備を進めたい重要路線。
 - ・ 都市計画道路 天王町仮宿線の整備（藤枝～岡部）
新東名高速道路ロングランプ施行に伴う迂回道路。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県藤枝市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
富士山静岡空港の開設に伴う、周辺道路整備	（都）志太中央幹線の整備	大井川以東の空港利用者の利便性をさらに向上させるアクセス道路。 国道150号の大井川架橋「富士見橋」の渋滞緩和。	県と共同で事業実施中
新東名高速道路開通に伴う、アクセス道路	現東名高速道路の新インターチェンジ設置（スマートインターチェンジ）	空港利用者の利便性の向上と地域産業のさらなる振興に効果を発揮。	国と県及び関係市町で協議中
	（都）焼津広幡線 県道静岡朝比奈藤枝線の整備	新東名と現東名を結ぶと共に、新東名の利用率向上を図る。	県施工にて実施中 県施工 未施行
	（都）三輪立花線の整備（藤枝～岡部）	焼津広幡線にアクセスする道路で周辺地域の交通利便性の向上を図る。	市施工にて実施中
国道1号藤枝バイパスの事故防止策等	国道1号藤枝バイパスの4車線化整備	バイパスの無料化以降、多くの車両が利用するようになり、既に容量をオーバーしていると思われる。また、大型車両が多いため、通過車両の安全面や事故防止対策上からも、効果的。	事業主体は国
幹線道路整備	（都）小川島田幹線の整備（焼津～藤枝～島田）	東西軸の交通緩和と周辺地域の活性化を図る。 今後、本市が整備を進めたい重要路線。	
	（都）天王町仮宿線の整備（藤枝～岡部）	新東名高速道路のロングランプ施工に伴い、市道仮宿八幡線の代替機能を確保するための迂回道路	市施工にて実施中